

# 学 修 生 活

## 授業と単位

### ○単位と単位の修得

単位とは、1つの科目(授業)を履修するのに必要な時間を表します。例えば、普通の講義科目ですと、毎週1時間の授業を15週受けると1単位ということになります。演習科目や実技・実習科目は、さらに時間を必要とします。(履修規程参照)

その単位に必要な時間数を受講し、試験を受けて合格した場合に単位を修得したことになります。

### ○授業時間帯

本学の授業時間は90分単位で、授業時間帯は次のとおりです。

時限	時間帯
第1時限	9:00～10:30
第2時限	10:40～12:10
第3時限	13:10～14:40
第4時限	14:50～16:20
第5時限	16:30～18:00
第6時限	18:10～19:40

## 修了に必要な単位

修了の認定には、次の区分による単位を修得することが必要です。

1. 人間科学専攻専門科目、地域文化専攻専門科目の内よりそれぞれ専攻にあわせて20単位以上を修得すること。ただし、自己の専攻以外の他の専攻専門科目から10単位を上限に修得できる。
2. 論文指導にあたる課題研究(必修)を修得すること。
3. 両専攻共通科目である人間文化特論(必修)を履修すること。
4. 以上の科目を総計して30単位以上を修得し、かつ修士論文を作成すること。

上記は修了に必要な最低の単位数です。受講しても成績が「不可」になると、単位を修得したことになります。したがって、履修登録は多めに行ってください。

## 資格の取得

本学大学院の人間科学専攻では、幼稚園教諭及び小学校教諭の専修免許状取得に関わる指導・教育を行います。

また、地域文化専攻では、中学校及び高等学校教諭専修免許状(英語)取得に関わる指導・教育を行います。

研究科名	専攻名	免許状の種類
人間文化研究科	人間科学専攻	幼稚園教諭専修免許状
		小学校教諭専修免許状
	地域文化専攻	中学校教諭専修免許状(英語)
		高等学校教諭専修免許状(英語)

## 授業科目担当者一覧

(

(人間科学専攻教員)

研究科長	金子 晃之	教育学特論 I・II 教育史特論 I・II	
教授	浅野 卓司	図画工作特論 I・II	
教授	小原 倫子	教育相談特論 I・II カウンセリング特論 I・II	
教授	木村 達志	保育内容特論 III・IV	
教授	嶋守 さやか	社会学特論 I・II	
教授	辻岡 和代	食育特論 I・II	
教授	上村 晶	幼児教育学特論 I・II	
教授	ダーリンプル 規子	幼児理解特論 I・II	
教授	堀 由里	教育心理学特論 I・II 発達心理学特論 I・II	
准教授	小柳津 和博	特別支援教育特論 I・II	
准教授	森山 雅子	乳幼児心理学特論 I・II	
助教	藤井 七瀬	障害児心理学特論 I・II	
非常勤講師	平野 朋枝	体育特論 I・II	
		児童福祉特論 I・II	
		保育内容特論 I・II	
		保育内容特論 V・VI	

(地域文化専攻教員)

教授	石渡 雅之	English Education I・II 英語科教育学特論 I・II スクール・インターンシップ (英語)	
教授	都 恩珍	言語学特論 I・II・III・IV	
教授	小林 愛明	American Literature I・II	
教授	布 和	歴史学特論 I・II	
准教授	内田 政一	English Linguistics I・II・III・IV	

非常勤講師	辻 のぞみ	観光学特論 I・II	
非常勤講師	太田 昌孝	日本文化特論 I・II	
非常勤講師	坂本 知壽子	ジェンダー特論 I・II	
非常勤講師	玉地 雅浩	人間学特論 I・II	
非常勤講師	渡辺 美樹	British Literature I・II	

## 履修登録について

学期始めに各自で登録をし、教務課に届け出をします。指定の期日までに手続きを完了しない場合は単位認定の対象になりません。

講義が始まって、最初の1週間は仮登録をして授業を受け、その後に本登録をします。

## 履修登録における留意事項

1. 上級年次配当科目の履修や、単位修得済みの科目を再度履修することはできません。
2. 科目の選択の際に、各種の資格取得のために必要なものがあるので、十分注意してください。
3. 本登録後は、原則として科目の追加、変更、取り消しは認められません。
4. 修了に必要な単位数は、専攻科目から課題研究も含めて30単位以上。ただし、他の専攻科目から10単位を上限に修了要件単位にできます。
5. 長期履修学生が1年間で履修できる単位数は14単位です。

## 修士論文執筆要項

### 【執筆における留意点】

1. 先行研究を踏まえて、研究の目的を適切に設定すること
2. 研究の目的に合致した研究方法を選択すること
3. 論理的に整合性のある記述と章編成を行うこと
4. 研究成果について明確に記述すること
5. 今後の課題を適切に設定すること
6. 書物・ウェブサイト等に掲載された他人の文章を使用する場合、出典を明示すること
7. 表記上の留意点  
本文：
  - (1) 使用する言語は日本語、外国語のいずれでもかまわない。ただし、外国語の場合、母語は認めない。日本語の場合、原則として常用漢字を用い、現代仮名遣いによる。
  - (2) 論文は単著であること。共著は認めない。
  - (3) 横書き、縦書きは任意である。執筆にはパソコンを使用すること。
  - (4) 横書きの場合、数字は原則として算用数字を用いる。
  - (5) 数字・欧字は半角とする。
  - (6) 章別、項目別などの序列表記は、任意である。
  - (7) 目次を添え、頁を付す。頁番号の付し方は任意である。(例：目次 i. ii. iii...、本文 1. 2. 3)
  - (8) 図表、写真などには、通し番号を付ける。
  - (9) 引用文献など：注記の付し方、引用文献・参考文献などの示し方は、各研究領域の確立された慣例に従う。
  - (10) 枚数 用紙はA4判とする。原則として17枚以上(図表・写真を除く)。各項の書式は原則として和文は40字×30行、欧文は約85ストローク×35行とする。

要約：提出の際、A4判2枚程度の要約を添える。使用言語、書式については、7（1）、（3）と同じ。

【提出に関する留意点】

1. 装丁：提出時の装丁は、黒表紙・黒紐綴じとする。表紙には「平成〇〇年度修士論文」、「論文題目」、「桜花学園大学大学院人間文化研究科〇〇〇〇専攻」、「学籍番号」、「氏名」を記載した白紙を貼付する。
2. 提出：提出の際は、論文・要約各3部に加え、別紙「提出票」を添えて、指定された期限内に教務課に提出する。
3. 題目変更：題目を変更する必要がある場合は、指導教員の承認を得て変更届を出す。

教育課程表

(1)人間科学専攻専門科目

科目名		開講年次	単位数
		選択必修	
心理学系	教育心理学特論Ⅰ	1・2	2
	教育心理学特論Ⅱ	1・2	2
	発達心理学特論Ⅰ	1・2	2
	発達心理学特論Ⅱ	1・2	2
	障害児心理学特論Ⅰ	1・2	2
	障害児心理学特論Ⅱ	1・2	2
	乳幼児心理学特論Ⅰ	1・2	2
	乳幼児心理学特論Ⅱ	1・2	2
	教育相談特論Ⅰ	1・2	2
	教育相談特論Ⅱ	1・2	2
	カウンセリング特論Ⅰ	1・2	2
	カウンセリング特論Ⅱ	1・2	2
	幼児理解特論Ⅰ	1・2	2
	幼児理解特論Ⅱ	1・2	2
教育・保育学系	教育学特論Ⅰ	1・2	2
	教育学特論Ⅱ	1・2	2
	幼児教育学特論Ⅰ	1・2	2
	幼児教育学特論Ⅱ	1・2	2
	教育史特論Ⅰ	1・2	2
	教育史特論Ⅱ	1・2	2
	特別支援教育特論Ⅰ	1・2	2
	特別支援教育特論Ⅱ	1・2	2
	体育特論Ⅰ	1・2	2
	体育特論Ⅱ	1・2	2
	図画工作特論Ⅰ	1・2	2
	図画工作特論Ⅱ	1・2	2
	保育内容特論Ⅰ	1・2	2
	保育内容特論Ⅱ	1・2	2
	保育内容特論Ⅲ	1・2	2
	保育内容特論Ⅳ	1・2	2
	保育内容特論Ⅴ	1・2	2
保育内容特論Ⅵ	1・2	2	
児童福祉特論Ⅰ	1・2	2	

	児童福祉特論Ⅱ	1・2	2
	食育特論Ⅰ	1・2	2
	食育特論Ⅱ	1・2	2
	社会学特論Ⅰ	1・2	2
	社会学特論Ⅱ	1・2	2
総合	課題研究Ⅰ	1	必修2
	課題研究Ⅱ	1	必修2
	課題研究Ⅲ	2	必修2
	課題研究Ⅳ	2	必修2

長期履修学生は、課題研究Ⅰ及びⅡを2年次、課題研究Ⅲ及びⅣを3年次の履修とする。

(2)地域文化専攻専門科目

	科目名	開講年次	単位数
		選択必修	
言語・文化	言語学特論Ⅰ	1・2	2
	言語学特論Ⅱ	1・2	2
	言語学特論Ⅲ	1・2	2
	言語学特論Ⅳ	1・2	2
	人間学特論Ⅰ	1・2	2
	人間学特論Ⅱ	1・2	2
	English LinguisticsⅠ	1・2	2
	English LinguisticsⅡ	1・2	2
	English LinguisticsⅢ	1・2	2
	English LinguisticsⅣ	1・2	2
	British LiteratureⅠ	1・2	2
	British LiteratureⅡ	1・2	2
	American LiteratureⅠ	1・2	2
	American LiteratureⅡ	1・2	2
	English EducationⅠ	1・2	2
	English EducationⅡ	1・2	2
	英語科教育学特論Ⅰ	1・2	2
	英語科教育学特論Ⅱ	1・2	2
	スクール・インターンシップ(英語)	1・2	2
	日本文化特論Ⅰ	1・2	2
日本文化特論Ⅱ	1・2	2	
グローバル・文	観光学特論Ⅰ	1・2	2
	観光学特論Ⅱ	1・2	2
	歴史学特論Ⅰ	1・2	2
	歴史学特論Ⅱ	1・2	2
	ジェンダー特論Ⅰ	1・2	2
	ジェンダー特論Ⅱ	1・2	2
総合	課題研究Ⅰ	1	必修2
	課題研究Ⅱ	1	必修2
	課題研究Ⅲ	2	必修2
	課題研究Ⅳ	2	必修2

長期履修学生は、課題研究Ⅰ及びⅡを2年次、課題研究Ⅲ及びⅣを3年次の履修とする。

(3) 人間科学専攻、地域文化専攻 共通科目

	科目名	開講年次	単位数
		必修	
	人間文化特論	1・2	必修2